

BACの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2日目	3日目	4~28日目
吐き気止め	 30分	 30分	 30分	お休み
トリアキシン (ベンダムスチン) mg	 1時間	 1時間	お休み	お休み
プレドニン注 (プレドニゾロン) 40 mg	 30分	 30分	 30分	お休み
キロサイド (シタラビン) mg	 2時間	 2時間	 2時間	お休み

※注射とは別に吐き気止めの内服薬があります。初日のアプレビタント125mgは抗がん剤の始まる1時間前に内服し、2・3日目のアプレビタント80mgは朝食後に内服します。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10~14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。



〈ご自身でわかる副作用〉

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2~3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることもあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動かさず、安静にして様子を見て下さい。

プレドニゾロン（ステロイド）による作用

胃が重くすっきりしなかったり（胃炎）、眠れなかったり（不眠）、血糖が高くなる（高血糖）などの症状が現れることがあります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談下さい。

便秘

便が硬くなって排便しづらくなることや、お腹が張ることがあります。

⇒便を軟らかくしたり、腸を動かすような薬を使って排便をうながします。

シタラビン症候群

38℃以上の高熱が出る、だるくなる、筋肉・骨が痛む、皮疹、喉の痛みなどがみられることがあります。シタラビン中止により、ほとんどの症状は軽快します。

血管痛・静脈炎

抗がん剤の刺激によって、点滴中～点滴後に血管に沿って痛みがでることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら、我慢せずにスタッフに声をかけて下さい。

★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（敗血症）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。